

和子由澠池懷舊

子由しゆうの澠池べんち懷旧わいきゆうに和す 二十六歳の作。

七言律詩 中国名詩選(下) 川合康三 二八〇頁

- 1 人生到處知何似 人生到る処 知らん何にか似る
- 2 應似飛鴻踏雪泥 応ひこに飛鴻ひこの雪泥を踏むに似るべし
- 3 泥上偶然留指爪 泥上に偶然 指爪しそを留しむるも
- 4 鴻飛那復計東西 鴻飛こうとびて那なんぞ復た東西を計らん
- 5 老僧已死成新塔 老僧 已に死して新塔と成り
- 6 壞壁無由見舊題 壞壁 旧題を見るに由よし無し
- 7 往日崎嶇還記否 往日きくの崎嶇ま 還た記する否や
- 8 路長人困蹇驢嘶* 路長く人困けんしみ蹇驢ろいなな嘶く

【自注】 *往歳馬死於二陵 騎驢至澠池 往歳馬二陵に死す 驢に騎りて澠池に至る。

【参考】蘇轍(子由)の原詩

懷澠池寄子瞻兄 七言律詩 北宋・蘇轍

相攜話別鄭原上、 共道長途怕雪泥。
 歸騎還尋大梁陌、 行人已渡古嶠西。
 曾爲縣吏民知否、 舊宿僧房壁共題。
 遙想獨遊佳味少、 無言騅馬但鳴嘶。
 **

*轍嘗爲此縣簿 未赴而中弟

**轍昔與子瞻應舉 過宿縣中寺舍 題其老僧奉閑之壁